

大阪労連女性部ニュース NO2



2011年10月6日

発行 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労会館1F

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

「憲法をいかし、原発ゼロ！安心・安全の、人間が大切にされる社会に変えよう

ー男女平等、長時間労働をなくし、ディーセント・ワークの実現をー

大阪労連女性部第22回定期大会開催！

大阪労連女性部は、9月23日（祝）大阪グリーン会館にて第22回定期大会を行いました。代議員64名の参加のもと満場一致で2012年度方針など採択されました。

来賓の挨拶では、大阪労連続副議長、大阪母親連絡会植田委員長をはじめ大阪知事選候補の梅田章二さん大阪市長選候補のわたし考一さんが挨拶をされました。

ともに秋の知事選・市長選では、今の橋下府政・平松市政から「防災に強い、安全・安心の大阪に変えよう」と力強い決意が述べられ、会場からは大きな拍手で支援を確認しました。

午後からは、ダイキン工業雇い止め争議・飛翔館高校争議・JAL不当解雇争議・アスベスト裁判原告団からの支援の訴えがあり、非正規労働者に対する者扱いの実態、労働組合を敵視した不当な解雇、アスベスト被害で長年苦しみを抱えてこられたことなど報告されました。青年部からは、10月20日に行われる「大阪青年大集会」へ女性部のパワーを青年部に見せて誘ってくださるとの訴えがありました。

討論では、7単産・3地区協から12名の発言！

自治労連 維新の会が提案した職員基本条例について発言します。まず、幹部職員を準職員とし、公募制を導入するものです。知事の権力をますます強化するものです。また職員を相対評価し、パフォーマンスの低い職員を下位評価し、2年連続で分限免職するとしています。強権政治の中、メンタルの病気が増えています。昨年、知事の側近を含め、在職者が7名が自死しました。現在の評価では0.05%が下位評価ですが、条例は5%を下位評価するとしています。根拠のない数字ですから、物言わぬ職員づくりとしか言えません。

9月7日の大阪自治権男女平等分科会では「東日本大震災はみんなの問題～町づくりに女性の参画を」と題して開催しました。男女平等がどうして防災にかかわるのと思っていた参加者から男女平等は社会をよくする運動だと知ったと発言があるなど、学びの多い会となりました。大阪府は大震災の年というのに府としての役割を果たしていないことが改めて浮き彫りとなりました。





世界では、男女平等が中心的課題と位置づけられています。日本では来年均等法見直しの年です。男女平等問題は、人権保障の問題であると同時に社会をよくする力です。命を生み育てる女性の意思が拡大されることが新しい日本も道筋です。

当面は市長選・知事選勝利のために全力で頑張ることを決意して発言を終わります。

全国一般 全国一般はいろいろな職種が集まっています。今年は組織拡大200名純増を目標に活動

しました。宣伝行動、全員呼びかけをし、180人増で純増30人になりました。12人のヘルパー労組が100名を超えました。全労連のアンケートをもとに拡大しました。被災地ボランティアにも組合として取り組みました。青年の力が女性にもパワーを与えています。学びながら、拡大に取り組みました。7月には原発ゼロの映画上映にも取り組みました。よい映画で広めたいです。

震災には、物資を送ったり、6Mのタペストリーを作ったりしました。

資生堂アンフィニの支援を行っています。支援物資は、宮城で作られています。法務局の窓口業務で40年登記証明書発行の仕事をしています。2007年から一般入札となり、低価格競争となり、4年間で1400名が退職となりました。遠距離の配置転換など、受け入れられない内容なのです。

年金者組合 年金者組合は、街づくり・仲間づくりを6年計画で行っています。高齢者の生活の大変さを知らせながら、まつりを行いながら広めています。女性は、賃金が低いため、年金も低いです。暮らしは大変です。今秋、年金者一揆を計画しています。消費税導入は福祉のためとって導入されました。しかしながら、福祉はよくなり、社会保障は悪化するばかりです。社会保障充実と、消費税増税反対の訴えにご協力ください。

福保労 子ども・子育て新システムは保育園を選べるというけれど、内容はサービスには何でもお金がかかり、待機児解消といいながらお金がないと入所すらできないというものです。

大阪市内の保育所や老人ホーム、児童施設に入れたい方が増えています。子育てや介護の悩みなどから精神的に不安定になり、報道されているように虐待など痛ましい事件になっています。乳児院では、人員不足で前に後ろに子どもをかかえ、夜間に電話がかかっても受け入れることが不能な事態です。民間委託せず、自治体の役割を果たしてもらうために府市署名にご協力ください。

大教組 教育基本条例は何としても撤回せねばなりません。維新の会は戦後レジウムを転換するといい、日本の教育を根底からくつがえし競争教育を進めようとしています。今までも知事は、一握りのエリート校を決め予算を偏らせ、府立高校統廃合をすすめるようしていました。教育基本条例は維新の会の議員も内容を知らず、小中学校の学力テストの順位を公表し学校選択制を入れるという内容が知らぬ間になくなるなど議論噴出の内容です。究極は知事に共感する職員以外を排除する条例です。

知事肝いりで教育委員になった影山さんも条例にある最高規範とは何かとか、誇りと情熱をもって子どもの指導に当たっている教員を管理するものだ。民間管理職になると学校はどうなるのか。教育委員こそ総辞職し公選制にし、教育委員の仕事に本腰を入れないといけないなどなど条例に対しての異論が続出しました。教育条例の内容を学校医会の人に伝え反対の声を広げていきたいと思ひます。

大私教 大私教も皆さんと2条例に反対して、力を尽くしていきたいと思ひます。

昨年私学の授業料が無償化となりましたが、実際は、所得証明ができる2学期までは、授業料を納めなければなりません。また、橋下知事のもと、私学の経常予算が10%また10%と削減された上に、また大幅に削減されました。削減されれば、私学では授業料を値上げせざるを得ません。2条例で公立高校の廃止が明文化されていますが、私学では先駆けて高校が廃校にならざるを得ない方向になっています。皆さんに現状を知らせ、力を合わせて運動を進めたいと思います。

医労連 「命を大切にしたいから」の署名にご協力ください。

今、看護師の職場には16時間2交代の夜勤が導入されています。それでも勤務が回らず4時間後にまた夜勤を行う職場があります。夜勤後は、せめて12時間開けようと署名運動をしています。

病気になるまでは医療費について考えたことはないかもしれませんが、ある人は悪性リンパ腫で1回32万（自己負担9万）の注射が必要でした。だれでも安心して治療が受けられる政治が必要です。

堺労連 堺労連はいろいろな人とつながろうと結成されました。最近の活動のメインは、代表者会議とコンサートです。コンサートは、争議の女性を助けようとの呼びかけで始まりましたが、今はダイキン、JNIUなど広く応援しています。地域の合唱団の参加を呼び掛け、今年も成功を目指しています。後継者を育てたいと思いつながり、まだまだできていませんが、つなげていこうと思います。

大震災のボランティアには遠くて参加できませんでしたが、台風12号ボランティアに参加しました。水につかるはずのないところに建ててある旧家すら、水害にあい、1人暮らしのおばあさんが精神的にショックを受けておられました。何ができるわけではありませんが、家の中のふき掃除を行ってきました。これからも若い人と一緒に活動していきたいと思っています。

阪南地区協 泉州地域の公務職場の話をしてします。大阪市長選などで注目されているが、少し前にあった選挙で橋下知事肝いりで当選した泉佐野の千代松市長は4月当選後、すぐ、職員の40%の賃金カットを提案してきました。労使協議でなく市民参加で公開討論を行うなど、労使で気づいてきた約束無視の対応をされています。消防職員も含めて7割の職員の署名で、交渉を行っています。泉佐野に続き、ほかの市でも次々と悪提案がされています。

公務員バッシングを背景に採用後、賃金等は下がるばかりです。一方、職員1人に対する住民の数は世界的にも多く、責任は増すばかりです。臨時職員も増え続けています。首長が変わるとよくも悪くも暮らしが変わります。秋の選挙、勝ちとりましょう。

東部地区協 東大阪市長選のたたかいについて話します。野田市長は一つも改革しない市長です。国保料計算も間違える有様です。東大阪は以前中小企業が1万件ありましたが、今6000件。長尾さんは市長時代全企業調査をおこない、中小企業を支えました。

野田市長は2010年から行革を進め、過労死ラインの80時間残業の職員が100人以上。病気も増えています。非正規労働は1700人を超えました。一方で野田市長には疑惑入札もあります。透明な入札を進めてきた3期目の長尾市政を実現させたいと思います。東大阪の市長選は市議選と同時選挙で激戦です。東大阪が変われば大阪変わると次回報告できるようにしたいと思います。



討論からも多く発言があったように、知事選・市長選で府民にやさしい大阪を変えましょう！